

いぶつ
縄文時代の遺物 (中野山遺跡)



とても白かったので、最初見つけた時は骨かと思いました。この辺りではあまり見かけない石材ですね。



ゆうぜつせんとうき
有舌尖頭器

女性が手にしている石器は、縄文時代初めごろ (約 10,000 年前) に用いられた槍の穂先です。県内では 100 点以上の出土例がありますが、少し変わった石材を用いています。

左下写真の土器には、山形の文様が連続して刻まれています。これは、おしがたもんどき押型文土器とよばれる縄文時代早期の土器です。刻んだ木の棒を土器の表面に転がして文様としたものです。三重県では、亀山市おおばな大鼻遺跡や松阪市こうの鴻ノ木遺跡などでも出土しています。



おしがたもんどき
縄文時代早期の押型文土器

飛鳥～奈良時代の遺物 (北山 A 遺跡)



はじきかめ
土師器甕 (煮炊き用の土器)



てっさい
鉄滓 (鉄を加工する際に生じる屑)

飛鳥～奈良時代の遺物の中には、ふいごはぐち てっさい 鞴羽口や鉄滓など、鉄の道具づくり (鍛冶) に関わるものがみられます。

古代の文献には、朝明郡に「大金郷」という地名があったと記されていますが、鉄の加工技術を持った人々が住んでいたことに由来するのでしょうか。

近畿自動車道名古屋神戸線 (四日市 JCT～亀山西 JCT) 建設事業に伴う

なかのやま きたやま
中野山遺跡 (第4次)・北山 A 遺跡 (第2次) 発掘調査

現地説明会資料

～四日市市北山町～



そまき ろあな
縄文時代早期 (約 8,000 年前) の炉穴

2011年10月2日

三重県埋蔵文化財センター

中野山遺跡 (第4次)・北山A遺跡 (第2次) 発掘調査現地説明会資料

(新名神高速道路埋蔵文化財発掘調査ニュース『新あさけのいにしへ』No.4) 平成23 (2011) 年10月2日

編集・発行: 三重県埋蔵文化財センター
〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503
TEL:0596-52-1732 / FAX:0596-52-7035
<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/maibun/>

四日市整理所
〒512-8064 三重県四日市市伊坂町126-1
TEL:059-363-3195 / FAX:059-363-3196



赤く焼けた炉穴



底のようす

石を敷き並べた炉穴



たくさんの炉穴



たてあなじゆうきよ
縄文時代の竪穴住居



ほったてばしらたても
掘立柱建物

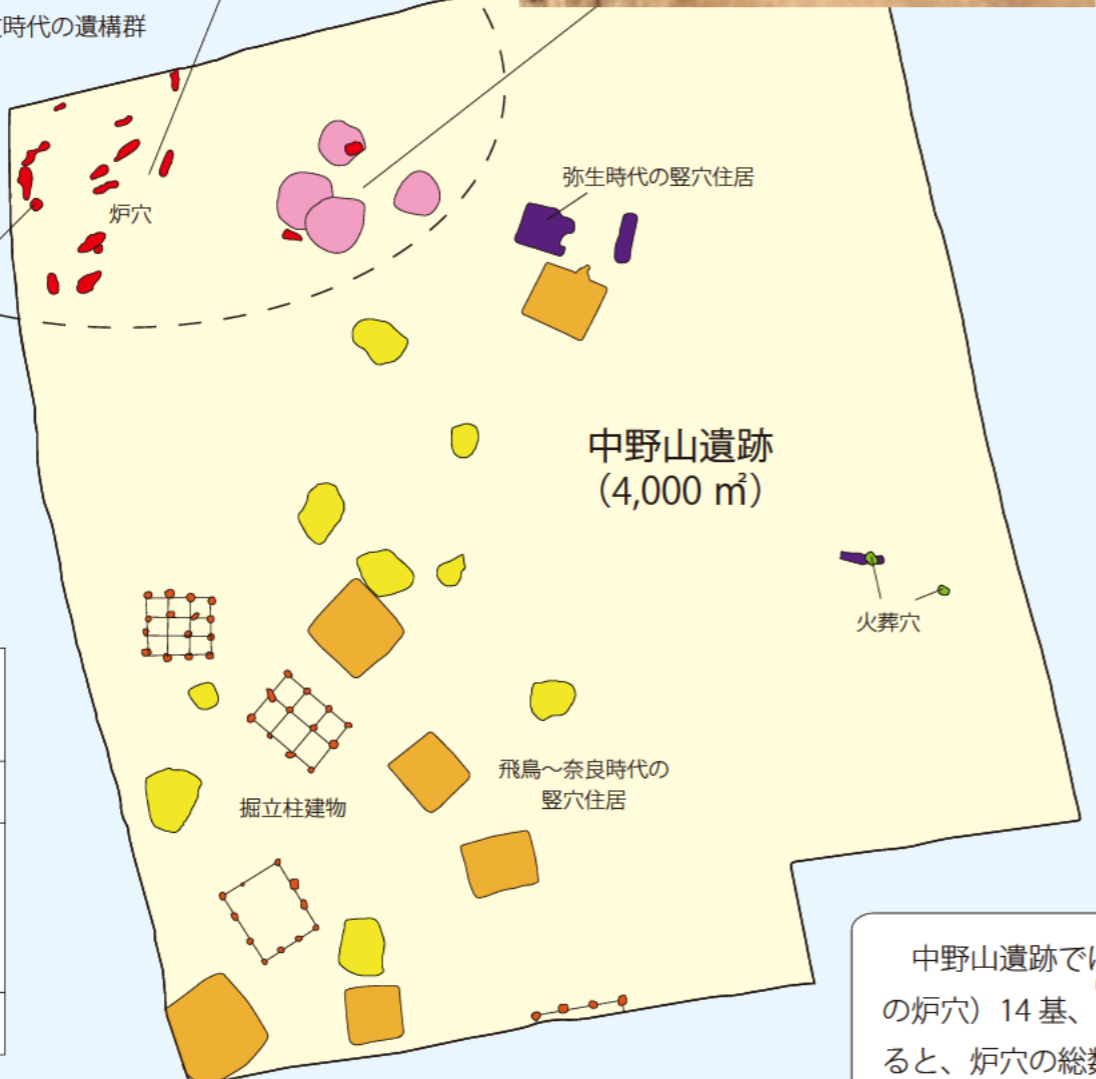


たてあなじゆうきよ
竪穴住居



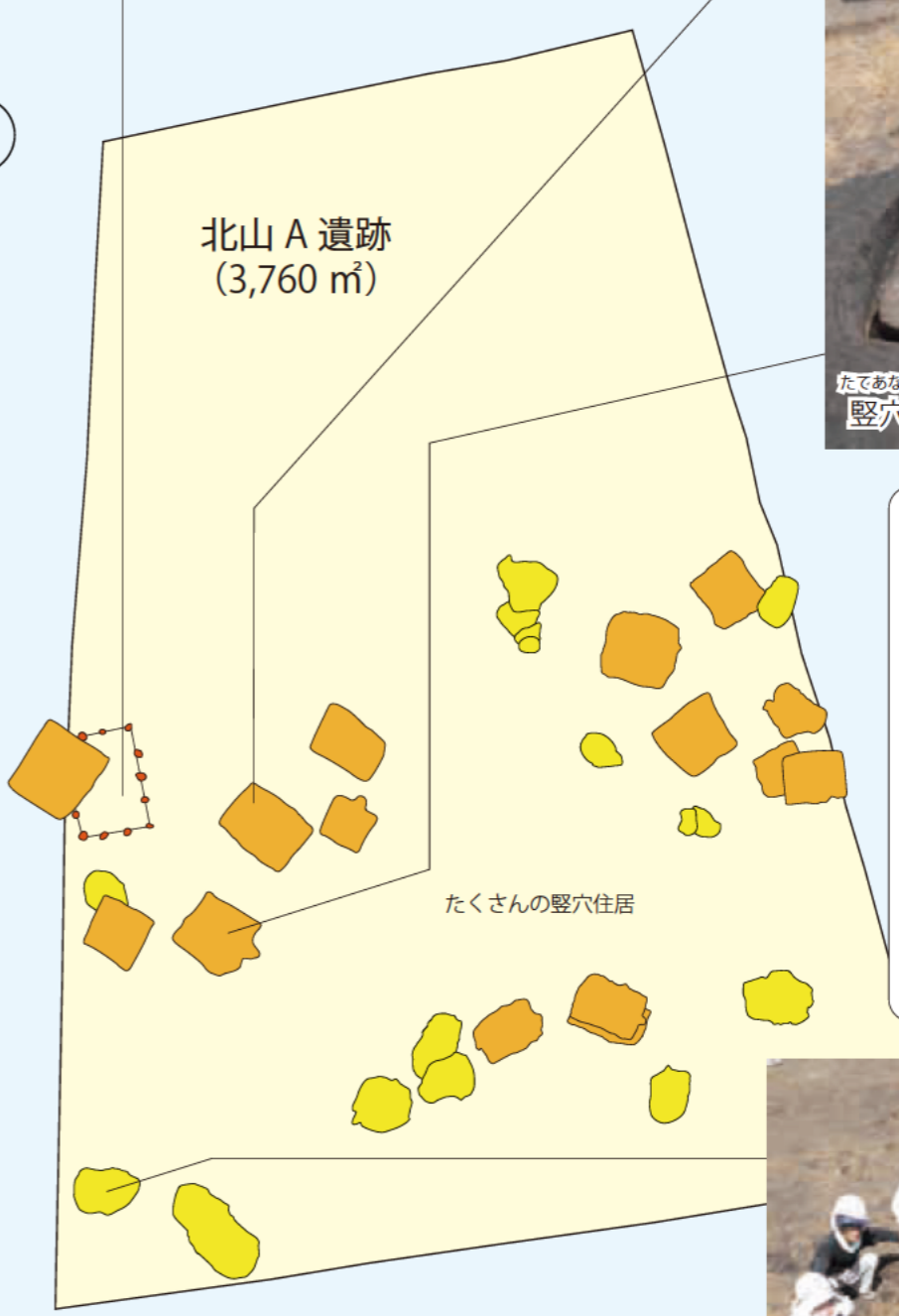
たてあなじゆうきよ
竪穴住居

縄文時代の遺構群



おもな遺構の時代と種類

| | | |
|---------------------|-------|--|
| 縄文時代 | 竪穴住居 | |
| | 炉穴 | |
| 弥生時代 | | |
| 古代 (飛鳥~ 奈良時代) | 竪穴住居 | |
| | 掘立柱建物 | |
| | 大きな穴 | |
| 中世 | 火葬穴 | |



北山 A 遺跡では、飛鳥~奈良時代の竪穴住居が多数見つかりました。同時代の竪穴住居や掘立柱建物は、中野山遺跡でも発見されており、集落が丘陵の広い範囲に広がっていることがわかりました。

竪穴住居などからは、鉄滓（鉄を加工する際に生じる屑）が見つかり、鉄の道具づくりに関わった集落の可能性がります。

中野山遺跡では、縄文時代早期の竪穴住居 4 棟のほか、煙道付炉穴（トンネル状の炉穴）14 基、集石炉 3 基、計 17 基の炉穴を確認しました。隣接調査地とあわせると、炉穴の総数は 30 基以上にのぼり、三重県内で最も多い調査事例となりました。



大きな穴